

令和6年度 山形大学入学者選抜試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

農学部 食料生命環境学科

小 論 文

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、9時から10時30分までです。
3. 試験が始まったら解答用紙2枚すべてに受験番号を正しく記入してください。
受験番号が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。
4. 解答はすべて解答用紙の指定されたところに記入してください。
5. 解答用紙の注意をよく読み、指示にしたがって解答してください。
6. この問題冊子の本文は、1ページから3ページまでです。
7. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
8. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

配布物は、問題冊子1冊（本文3ページ）、解答用紙2枚、下書き用紙1枚です。

入学試験問題用紙

試験科目 小論文

令和6年度学校推薦型選抜Ⅰ

山形大学農学部

問

題

問題1 以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

(石川伸一：「スイーツや料理をおいしく感じる」科学、化学と教育、Vol. 67、No. 8、p. 372-373、2019年より一部改変して引用)

問1 同じ量を加えるとき、アイスコーヒーには砂糖と果糖のどちらを加えた方が、甘く感じられると考えられるか、あなたの考えとその理由を100字以内で述べなさい。

問2 問題文を参照し、果物が低温で甘く感じられる理由を以下の全ての語句を使い、150字以内で述べなさい。

(異性体、 β -フルクトピラノース)

問3 砂糖の代替品として様々な甘味料が開発されており、現在の日本においても多くの甘味料が食品に使用されている。化学合成によりつくられた甘味料には砂糖とは異なる特徴を持つものがあるが、その特徴と食品への利用例の組み合わせを2つ挙げ、それぞれ100字以内で述べなさい。

入学試験問題用紙

試験科目 小論文

令和6年度学校推薦型選抜Ⅰ

山形大学農学部

問 題

問題2 以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

(鳥越皓之・小林久・海江田秀志・泊みゆき・山崎淑行・古谷桂信：岩波ブックレット No. 786 地域の力で自然エネルギー！、岩波書店、p. 40-44、2010年より一部改変して引用)

問1 下線部①について、バイオ燃料をどのように温暖化対策および農村振興へ役立てることができるのかを200字以内で述べなさい。

問2 バイオ燃料ブームによる最も大きな影響である下線部②「食糧との競合」によって、国際的にどのような問題が生じたのか、以下の全ての語句を使って250字以内で述べなさい。
(原料、国際価格、家計、政情不安)

問3 下線部③について、基準を満たすことが難しい理由を100字以内で述べなさい。